

**防災行政無線 戸別受信機**

**RV8601MDE**

**取扱説明書**

**沖電気工業株式会社**

## 目 次

1 . 概 要	1
1 - 1  概要	1
1 - 2  品名及び型式	1
2 . 構 成	2
2 - 1  構成	2
2 - 2  寸法および質量	2
3 . 定格・性能	3
3 - 1  定格	3
3 - 2  環境条件	3
3 - 3  受信部性能	3
3 - 4  モニタ部性能	3
3 - 5  選択呼出部性能	3
4 . 機 能	4
4 - 1  各部の名前とはたらき	4
4 - 2  待受け時の機能	6
4 - 3  電源に関する機能	6
4 - 4  受信時の機能	8
4 - 5  録音機能	9
5 . 設定機能（設定項目）	1 2

## 1. 概要

### 1-1 概要

(1) 本機は、60MHz帯を使用した市町村防災行政無線システムの通報を各家庭で受信するための防災行政無線戸別受信機で、市町村デジタル同報通信システム 総務省推奨規格に準拠しています。

(2) 本機はつぎの選択呼出制御機能を有しています。

- ・ 緊急一括呼出
- ・ 一括呼出
- ・ 群呼出
- ・ 個別呼出

以上の呼出を受けると、本機は自動的に受信状態になります。

(3) 本機の音量は、音量つまみにより連続可変できます。ただし、緊急強制音量の場合は音量つまみの位置にかかわらず一定音量になります。この場合にも、緊急解除スイッチを押すことで、音量つまみによる調整が可能となります。

(4) 本機は、市町村役場に設置された親局からの録音指示に従い、通報内容を自動録音することができます。親局からの録音指示が無い通報の場合でも受信時に本機の録音ボタンを押すことで、通報内容を手動録音することができます。

また、予め留守録音設定にすることで、自動通報内容を自動的に録音することも可能です。

録音した内容は、再生ボタンを押すことで、再生することができます。

通報内容の録音時間と録音件数は、標準で2分×8件まで可能です。

(5) 本機は、通常AC100V 50, 60Hzを使用し、停電時にはDC6V(単二形または単三形乾電池4本)を使用します。

停電時の電源の切替えは自動的に行われます。

(6) 本機は小型、軽量に設計されており、非常時の持ち出しが容易になっています。

### 1-2 品名及び型式

品名	防災行政無線 戸別受信機
型式	RV8601MDE

## 2. 構成

### 2-1 構成

本機の構成は次の通りです。

区 分	構成品名	数量	備 考
本 体	RV8601MDE	1	伸縮A N T付
付属品・添付品	電源コード 取付板 取扱説明書	1 1式 1	約4m 木ネジ4×16mm2本

### 2-2 寸法および質量

(1) 外形寸法

約240(幅)×130(高さ)×68(奥行)mm

(2) 質量

約1.1kg

### 3. 定格・性能

#### 3-1 定格

- |             |   |
|-------------|---|
| (1) 受信周波数   | 54 ~ 70 MHz の内の 1 波                           |
| (2) チャンネル間隔 | 15 kHz  |
| (3) 通信方式    | 時分割多元接続方式                                     |
| (4) 変調方式    | 16 QAM  |
| (5) 電源電圧    | AC 100V ± 10% 50 / 60 Hz                      |
| (6) 消費電流    | 5W 以下 (AC 100V 系)<br>(本体電源スイッチが「切」のときは 2W 以下) |

#### 3-2 環境条件

- |          |               |
|----------|---------------|
| (1) 温度条件 | 0 ~ 40        |
| (2) 湿度条件 | 95% (35 において) |

#### 3-3 受信部性能

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 受信感度       | +9 dB μV 以下 (BER 1 × 10 <sup>-2</sup> にて) |
| (2) スプリアスレスポンス | 53 dB 以上 (常温にて)                           |
| (3) 隣接チャンネル選択度 | 42 dB 以上 (常温にて)                           |
| (4) 相互変調特性     | 53 dB 以上 (常温にて)                           |
| (5) 副次発射強度     | 4 nW 以下 (常温にて)                            |
| (6) 空中線インピーダンス | 50 不平衡                                    |

#### 3-4 モニタ部性能

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 受信出力 | 最大出力 500 mW インピーダンス 8<br>(但し、外部スピーカ接続時は最大出力 400 mW) |
|----------|---|

#### 3-5 選択呼出部性能

##### (1) 呼出動作

下記の各信号にて正常に呼出が行えること。

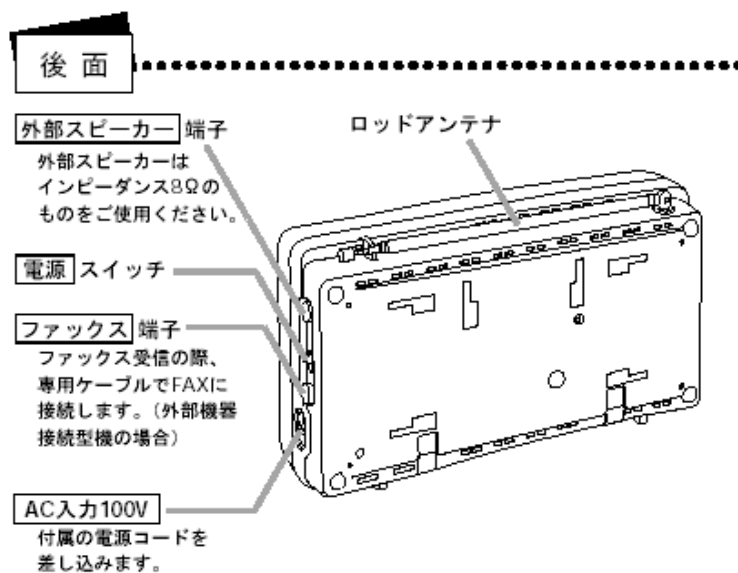
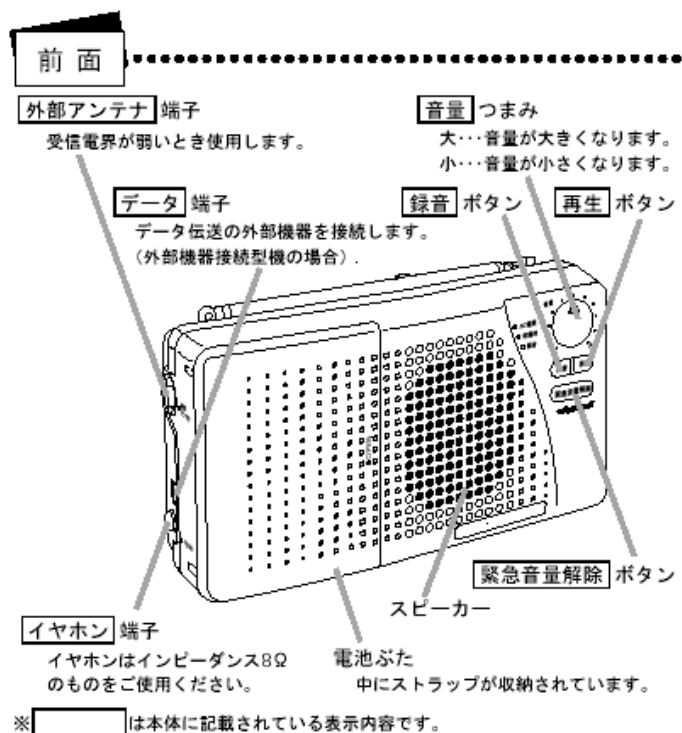
- |         |             |
|---------|-------------|
| a. 緊急一括 | 強制音量で一括呼出   |
| b. 一括   | 通常音量で一括呼出   |
| c. 群    | 指定の 30 群で呼出 |
| d. 個別   | 指定の個別番号で呼出  |
| e. 終話   | 放送終了        |

##### (2) 分割放送

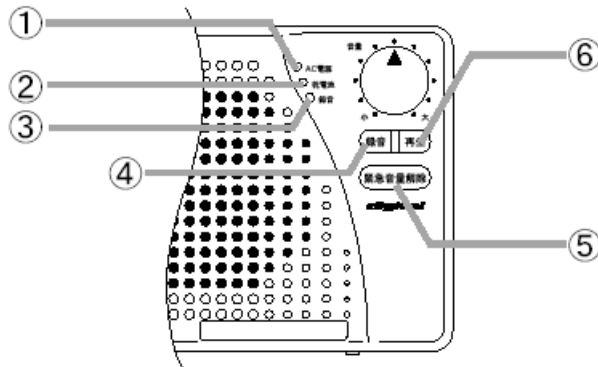
一括放送、群・個別放送の分割放送(時差放送)は指定された分割番号で呼出が行えること。

## 4. 機能

### 4 - 1 各部の名前とはたらき



## 操作部



### ●ランプのはたらき

名称	色	点灯	点滅
① AC電源ランプ	緑	AC100V使用中	音声通報を受信中です*1
② 乾電池ランプ	赤	乾電池使用中	乾電池が消耗している、または、入っていない*2
③ 録音ランプ	橙	録音中	通報内容が録音されています*3
	緑	留守録音設定中	—

※1 ●FAX受信中は点滅しません。

※2 ●電源スイッチを「入」の状態 で乾電池を外したり、新しい乾電池を入れた場合、乾電池ランプの点滅・消灯の表示が変化しないことがあります。

※3 ●未再生の録音内容がある場合に点滅します。

- 録音された内容を全て再生してから、再度再生した場合、1件再生終了ごとに約5秒間点滅します。(次の録音内容がある場合)

### ●ボタンのはたらき

名称	操作	機能	ランプの状態
④ 録音ボタン	・待ち受け中に押す	・留守録音設定されます	録音ランプ:緑
	・留守録音設定中に押す	・留守録音設定が解除されます	録音ランプ:消灯
	・通報受信中に押す	・押してから約120秒間(標準)通報を録音します(手動録音)	録音ランプ:橙
⑤ 緊急音量解除ボタン	・緊急通報中に押す	・受信音量は音量つまみの位置の大きさになります	(ランプ変化なし)
	・再生中に約2秒間長押しする	・再生中の内容とそれより古い内容を全て消去します	(ランプ変化なし)
⑥ 再生ボタン	・録音ランプ点滅中に押す	・未再生の録音内容を1件再生します	録音ランプ:消灯 (再生中)
	・再生中に押す	・次の録音内容を再生します(再生スキップ)	録音ランプ:消灯 (再生中)
	・(次の録音内容がない場合)	・再生終了後、ピーと鳴動して再生前の状態に戻ります(待ち受け中または留守録音設定中に戻ります)	待ち受け中に戻ると録音ランプ:消灯 留守録音設定中に戻ると録音ランプ:緑
	・録音ランプが点滅していない状態(待ち受け中または留守録音設定中)で押す	・最も古い再生済みの内容を1件再生します	録音ランプ:消灯 (再生中)

#### 4 - 2 待受け時の機能

電源投入後の初期設定を行った後、待受け状態となり、下記の機能を有しています。

- ( 1 ) 音声通報受信時には、音声が出力され、非音声通報受信時には音声がミュートされます。
- ( 2 ) 電池での使用時間を満足させるために、バッテリーセービング機能を有しており消費電流を低減させています。

#### 4 - 3 電源に関する機能

- ( 1 ) 本装置は A C 電源回路および D C 電源（乾電池）を内蔵しており、通常 A C 1 0 0 V で使用され、停電時および非常時には D C 電源に切り替わります。A C 電源から D C 電源に切り替わった時、A C 電源断お知らせ音（ピ、ピ、ピ、ピ）が鳴動します。但し、通報受信中に停電や A C プラグを外したりして A C 電源から D C 電源に切り替わった場合の A C 電源断お知らせ音（ピ、ピ、ピ、ピ）は通報終了後鳴動します。

##### ( 2 ) 通電表示

A C 電源で動作時は「A C 電源」ランプが点灯表示し、D C 電源で動作時は「乾電池」ランプを点灯表示し、それぞれ通電表示を行います。

##### 【通電表示】

- ・ A C 動作 ... 「A C 電源」ランプを 緑 点灯
- ・ D C 動作 ... 「乾電池」ランプを 赤 点灯

##### ( 3 ) 乾電池の低電圧監視

A C 電源動作時、乾電池が入っていない場合や D C 電源電圧が約 5 . 5 V 以下となった場合に、低電圧警告表示を行います。但し、A C 電源動作時は通報受信後に D C 電圧監視を実施します。

##### 【低電圧警告表示】

「乾電池」ランプを 赤 点滅

- ・ 点滅周期...約 500msecON、約 500msecOFF

D C 電源動作時に D C 電源電圧が約 4 . 6 V になった場合にも同様に低電圧警告表示を行います。但し、D C 電源動作時は周期的に D C 電圧監視を行います。

#### ご注意 1

保守装置の設定により乾電池の低電圧検出時、警告音を鳴らす設定が可能です。

警告音の鳴動を止める時は、「緊急音量解除」ボタンを押してください。

警告音の鳴動を一度止めた以後、通報受信時に低電圧を検出すると再び警告音が鳴動します。



## ご注意 2

AC電源動作時、電源スイッチを「入」の状態では電池を取り外したり、新しい電池を入れた場合、乾電池ランプの点滅・消灯の表示が変化しない場合があります。

乾電池を交換する場合は、本体電源スイッチを「切」にして交換し、交換後電源スイッチを「入」にして下さい。

## (4) 停電保障時間

待受け 55 分、受信 5 分、乾電池 4 本にて以下の使用時間を電池にて動作させることが可能です。(内蔵IC<sup>o</sup>-使用時)

単 2 形：約 2 4 時間以上
------------------

但し、この時間は、新品の乾電池を使用した場合に限りです。

#### 4 - 4 受信時の機能

受信時の機能として以下の機能を有しています。

( 1 ) 音量ボリュームによって、音量の調節ができます。

但し、ボリューム最小位置でも音がゼロとならず音が出ます。

( 2 ) 親局の操作卓から以下の選択呼出信号を受信できます。

個別

群

一括

緊急一括 ( 最大音量モード )

時差呼出し

( 3 ) 緊急一括放送などの操作卓から強制音量制御を受信した場合は音量つまみ位置に関わらず固定 ( 最大音量 ) にて音量が出力します。

( 4 ) 強制音量で拡声中に緊急音量解除キーを押下すると緊急 ( 最大 ) 音量が解除しボリューム設定音量に移行します。

( 5 ) 親局 ( 操作卓 ) からの指示による強制録音、及び録音キー押下による手動録音ができます。

( 6 ) 本装置を個別番号「0000」に設定した時、市町村コードが一致していれば、群、個別番号に関わらず全ての音声放送を受信できます。( エアモニターモード )

( 7 ) 音声通報受信中には A C 電源ランプが点滅し、受信状態をお知らせします。

【音声受信中表示】

「AC 電源 / 受信」ランプが 緑 点滅

・点滅周期...約 500msecON、約 500msecOFF

( 8 ) 受信中に同期が外れた場合、初期同期補足モードに戻り、待受け状態に戻ります。

#### 4 - 5 . 録音機能

本装置は受信音声録音再生のためのICを備え、以下の機能を有しています。

( 1 ) スイッチにより、任意に録音、再生を起動できます。

( 2 ) 録音時間と録音件数

1件あたりの録音可能時間は固定時間で、保守装置から下記A、B、Cの3つのモードを選択設定できます。

Aモード 1件あたりの録音時間2分固定 × 録音件数 8件

Bモード 1件あたりの録音時間3分固定 × 録音件数 5件

Cモード 1件あたりの録音時間4分固定 × 録音件数 4件

設定された録音時間を超える通報部分は録音されません。

例えば、Aモード設定の場合、2分を超える通報に関しては2分以降の内容は録音されません。

また、録音可能件数を超えて新しい番組が録音される場合は、1番古いものから順番に上書きし、上書きされた元の番組は番組ごと消去されます。

( 3 ) 強制録音 ( 自動録音 )

緊急一括通報や操作卓からの録音指示がある通報は留守録設定の有無にかかわらず自動的に通報は録音されます。

( 4 ) 留守録音

留守録音は操作卓からの強制録音だけでなく通常の放送も自動的に録音する機能です。

留守録音の設定は待受け時に「録音」スイッチを押下することで、留守録音設定となります。

【留守録設定表示】

「録音」ランプ 緑 点灯

留守録音設定状態で、待ち受け時再度「録音」スイッチを押下すると留守録音設定は解除され、「録音」ランプは消灯します。

( 5 ) 手動録音

音声通報受信時、録音されていない状態で「録音」スイッチを押下するとその時点から通報が録音されます。

一度録音開始されると録音を途中で停止またはキャンセルすることはできません。

( 6 ) 録音中のランプ表示

録音中の状態においては録音中を示すランプ表示を行います。

【録音中表示】

「録音」ランプ オレンジ 点灯

( 7 ) 録音済みのランプ表示

録音終了後、ランプにて録音ありの表示を行います。

【録音あり表示】

「録音」ランプ オレンジ 点滅

・但し、留守録音設定時の場合は、オレンジと緑が交互点滅します。

( 8 ) 再生

録音された番組を再生する時は、「再生」キーを押下することで未だ一度も再生したことのない番組の最も古い(過去の)番組を1番組再生します。再生中は、「録音」ランプは消灯します。

1番組再生終了した後、まだ再生したことのない番組が残っている場合は、継続して【録音あり表示】のランプ表示を行います。

【録音あり表示】のランプ表示している状態で「再生」キーを押下することで次の未再生の番組を再生します。

再生中に放送受信した場合は、再生を中止して受信を優先し、このとき再生していた番組は「再生済み」扱いとなります。この場合、受信終了後は再生状態に復帰せず待ち受け状態となります。

( 9 ) 再生スキップ

再生中に再生ボタンの再度押すと、次の番組の先頭に移動し再生開始します。このとき、再生していた番組は「再生済み」扱いになります。

( 10 ) 再生全終了

未再生の最後の番組を再生し終わった後、または最後の番組再生中に再生キーを押下された場合(最終再生スキップ)は、再生全終了となり、もとの留守録音設定の状態(定常状態)に戻ります。(再生前が留守録音設定状態なら留守録音設定状態に戻り、「録音」ランプ緑点灯、再生前が留守録音設定でないなら「録音」ランプ消灯)

またこの時、定常状態復帰お知らせ音(ピー)が鳴動します。

### ( 1 1 ) 再 生

再生全終了後、定常状態になっている時に、「再生」キーを押下することで録音済み番組の一番古い番組を再生します。

番組に録音されている時間分再生した後、さらに録音済み番組が残っている場合は、継続して【録音あり表示】のランプ表示を約5秒間行います。

この5秒間（【録音あり表示】ランプ表示期間）、無操作で時間が経過するともとの留守録音設定の状態（定常状態）に戻ります。反対にこの約5秒間の【録音あり表示】ランプ表示中に「再生」キーを押下すると次の録音済み番組を再生します。

最新の番組再生終了後、または最新の番組再生中に再生キーを押下された場合（最終再生スキップ）再生終了となり、もとの留守録音設定の状態（定常状態）に戻ります。

### ( 1 2 ) 録音内容の消去

番組再生中に「緊急音量解除」キーを約2秒間押すと、再生中の番組とそれ以前の番組を全て消去します。その後の動作は番組再生中に「再生」キーを押された場合に準じます。

#### ご注意

電源スイッチを切ると録音されている内容は全て消えます。

## 5 . 設定機能（設定項目）

設置する前に保守装置を戸別受信機に接続して以下の設定を行います。

### 都道府縣市町村コード

‘ 0 0 0 0 0 ’から ‘ 6 5 5 3 5 ’ までの数値

### 個別番号

‘ 0 0 0 0 ’ および ‘ 2 0 0 0 ’から ‘ 8 9 9 9 ’ までの数値を一つ。

（個別番号「0000」の場合は、市町村コードさえ一致していれば全ての着信ができるエアモニターモード）

デフォルト値：8888。

### 群番号

‘ 1 1 0 1 ’から ‘ 1 9 9 9 ’ までの数値を最大30個

### 一括受信

緊急一括を除く一括選択呼出による通報の着信を ‘ 有効 ’ とするか ‘ 無効 ’ とするかの指定。デフォルト：有効

### 分割番号

一括選択呼出および群・個別選択呼出による通報が時分割で送られてきた場合、着信有効とすべき分割番号を指定。‘ 1 ’から ‘ 6 ’までの数値。

デフォルト値：1

### 録音機能不要

留守録音、強制録音、手動録音の一切の録音を不要とする設定。

### 録音モード設定

2分×8番組か3分×5番組か4分×4番組かを設定。

デフォルト：2分×8番組

### 低電圧警報音の鳴動の有無

乾電池の低電圧検出時、警報音を鳴動するかしないかの設定。

デフォルト：鳴動しない